大阪市景気観測調査結果(令和5年1-3月期)

大阪市では、四半期毎に、大阪府と協力して景気観測調査を実施しており、市内企業分の調査結果について独自に分析を行っております。大阪市内の令和5年1-3月期の調査結果の概要は次のとおりです。

なお、大阪府景気観測調査結果については、大阪産業経済リサーチセンターのウェブサイト (http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/)をご覧ください。

※景気動向をより的確にとらえるため、一部の指標で季節調整値を用いています。

景気は、一部でやや弱めながら、緩やかな持ち直しが持続

今期の業況判断 DI は、前期比は上昇、前年同期比は下降となるも小幅で、総じて緩やかな持ち直し基調が持続しているがテンポは鈍化しており、製造業ではやや弱めの動き。来期の業況見通し DI は業種を問わず上昇。 出荷・売上高 DI、営業利益判断 DI、営業利益水準 DI は上昇。資金繰り DI は下降。原材料価格 DI、製・商品単価 DI は下降となるも高水準。設備投資は積極化。雇用不足 DI と来期の従業者数の見通し DI はともに上昇。

調査結果の要点(令和5年1-3月期)

業況判断・・前期比〔季節調整後〕は上昇、前年同期比は下降

業況判断 DI(前期比)は 4.6 ポイント上昇し-12.1、業況判断 DI(前年同期比)は 1.3 ポイント下降し-8.3。前期比は 2 期連続の上昇、一方、前年同期比は下降に転じたが下降幅は小さく、総じて持ち直し基調が持続しているが、テンポは鈍化。業況の主な上昇要因は、「販売・受注価格の上昇」が下降したが 39.4%と最も高く、「季節的要因」が横ばいで 32.6%、「内需の回復」が下降し 22.9%。下降要因は、「原材料価格の上昇」が上昇し 34.8%、「販売・受注価格の下落」が上昇し 29.8%、「内需の減退」が横ばいで 26.5%。

来期(令和5年4-6月期)の業況見通し[季節調整後]…上昇

来期の業況見通し DI(前期比)は、6.0 ポイント上昇し-6.1 の見通し。業種・規模に関わらず上昇の見通し。

出荷·売上高〔季節調整後〕···上昇

出荷・売上高 DI(前期比)は 2.0 ポイント上昇し-12.0。 ただし、 製造業のみ小幅に下降。

営業利益判断〔季節調整後〕…上昇 営業利益水準〔季節調整後〕…上昇

営業利益判断 DI は 3.9 ポイント上昇し 3.3。営業利益水準 DI(前期比)は 1.0 ポイント上昇し-18.8。

原材料価格···下降 製·商品単価···下降

原材料価格 DI(前期比)は 4.2 ポイント下降し 62.3。製・商品単価 DI(前期比)は 7.5 ポイント下降し 16.3。

設備投資・・・積極化への動き

設備投資は、「増加」の割合が「減少」を上回り、また、前年同期よりも「増加」が上昇し、積極化への動き。

資金繰り…下降

資金繰り DI は 0.8 ポイント下降し 14.5。 製造業は 3 期連続で下降。

雇用状況…上昇 来期の従業者数の見通し〔季節調整後〕・・・上昇

雇用不足 DI は 1.9 ポイント上昇し 34.7、来期(4-6 月期)の従業者数見通し DI は 0.9 ポイント上昇し-0.1。

採用者数の増減・・・令和4年度、採用者数を「増加」させた企業は顕著に上昇し約2割

「増加」は令和4年度実績では7.5ポイント上昇し21.3%、令和5年度予定も引き続き2割台。

採用者の雇用形態・・・・令和 4 年度実績は中途正社員が 75.1%、新卒正社員は 31.2%

新卒正社員は採用予定 39.9%に対して実績は 31.2%、一方、中途正社員は採用予定 72.9%に対して実績 75.1% となった。なお、令和 5 年度の新卒正社員の採用予定は 2 年連続で下降し、中途正社員は連続上昇となった。

[調査の方法]

調査対象:市内の民営事業所

(農林漁業、鉱業、電気・ガス・熱供給業、金融・保険業およびサービス業の一部

を除く)。

・ 調査方法:郵送自記式アンケート調査

· 調査時期:令和5年3月上旬

· 回答企業数:840社

業種別回答企業数内訳 令和5年1-3月期

		業 種 別		従 業	者 規 模	構成比	(%)	
		企業数	4人以下	5~19人	20~49人	50~99 J	100∼	300人
		(社)	4八以下	3 - 19/	20 49/	30 - 99/	299人	以上
製造業		207	20. 1	32.8	19.6	13. 2	8.8	5.4
非製造業		633	40.3	28. 2	13. 9	8.3	5. 7	3.6
	建設業	78	36.5	32.4	14. 9	4. 1	2.7	9. 5
	情報通信業	24	0.0	22.7	18. 2	31.8	27.3	0.0
	運輸業	31	10.7	39. 3	10.7	14. 3	17. 9	7. 1
	卸売業	191	27.8	34.8	21.4	11. 2	3. 7	1. 1
	小売業	89	54.0	29.9	5. 7	3. 4	3.4	3. 4
	不動産業	62	66. 1	18.6	8.5	3. 4	1.7	1.7
	飲食店・宿泊業	39	73.7	13. 2	5. 3	5. 3	0.0	2.6
	専門・技術サービス	59	37.3	30. 5			1	3.4
	事業サービス	29		13.8		13.8	8 8	
	生活関連サービス業、娯楽業	28		11. 1	7.4	7.4	1 :	
	その他サービス	3	33.3	33. 3	0.0	0.0	33. 3	0.0
全業種計		840	35.3	29.4	15.3	9.5	6.5	4.0
不明		0						

規模別回答企業数内訳

	企業数	構成比
	(社)	(%)
大企業	59	7.0
中小企業	758	90.2
不明	23	2.7

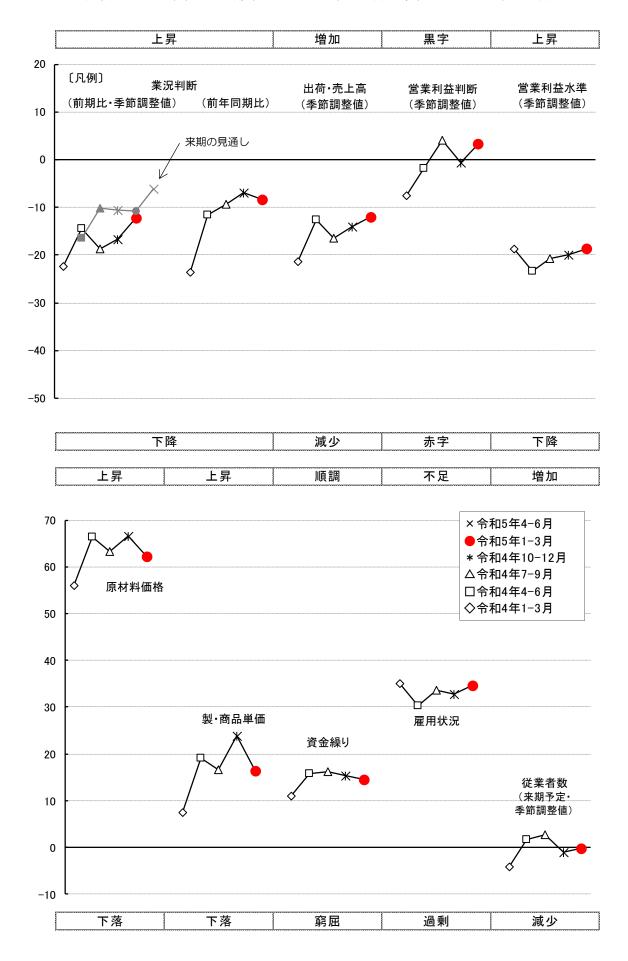
注 1

- 1. 構成比(%)は、無回答を除いた有効回答企業数をもとに算出している。
- 2. 従業者数 300 人以上の企業を大企業とする。ただし、卸売業、サービス業は 100 人以上、 小売業、飲食店・宿泊業は 50 人以上を大企業とする。(上記の 部分)

- 注2 DIは「上昇又は増加等企業割合(%)」から「下降又は減少等企業割合(%)」を差し引いたもので、プラスは上昇・増加・黒字基調・順調等の企業割合が上回り、マイナスは下降・減少・赤字基調・窮屈等の企業割合が上回ったことを示す。
- 注3 回答割合等の結果数値(%)は、少数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって、内訳の計 が合計と一致しないものもある。
- 注4 業況判断(前期比)、出荷・売上高、営業利益判断、営業利益水準、従業者数(来期予定)の各 DI に対して、X-13- ARIMA による季節調整を実施している〔巻末注参照〕。また、毎年 4-6 月期に季節調整モデルを更新しており、これにより過去のデータが遡及改訂されている。

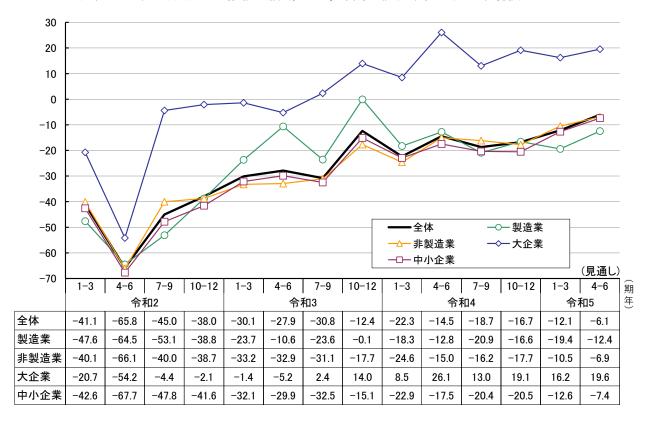
[調査結果]

図表 1 主な項目の DI (令和 4 (2022) 年 1-3 月~令和 5 (2023) 年 1-3 月)



1 企業の業況判断とその影響要因

(1) 業況判断



図表 2 業況判断 DI の推移(前期比・季節調整値、業種別、企業規模別)

(ア) 今期における対前期比の業況判断 (季節調整後)

今期(令和 5 年 1-3 月期)の業況判断 DI(前期比)は、全体では 4.6 ポイント上昇し-12.1 となった。2 期連続の上昇でコロナ禍後の最高水準を更新し、総じて、緩やかな持ち直し基調を持続している。なお、今期は業種・規模によって異なる動きとなり、前期上昇した製造業と大企業は下降に転じ、逆に前期足踏みだった非製造業と中小企業は上昇となった。

製造業・非製造業別

製造業は 2.8 ポイント下降し-19.4、非製造業は 7.2 ポイント上昇し-10.5。

大企業・中小企業別

大企業は 2.9 ポイント下降し 16.2、中小企業は 7.9 ポイント上昇し-12.6。

(イ) 来期における業況見通し (季節調整後)

来期(令和5年4-6月期)の業況見通しDI(前期比)は、全体では6.0ポイント上昇し-6.1 となり、持ち直しが持続する見通し。来期は製造業と大企業も上昇に転じて、業種・規模に関わらず上昇の見通し。

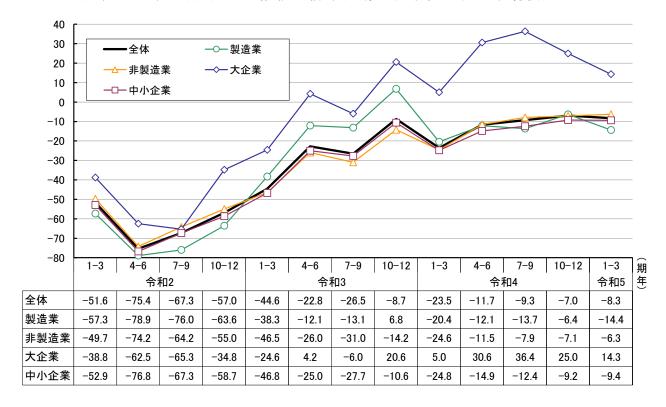
製造業・非製造業別

製造業は7.0ポイント上昇し-12.4、非製造業は3.6ポイント上昇し-6.9。

· 大企業・中小企業別

大企業は3.4ポイント上昇し19.6、中小企業は5.2ポイント上昇し-7.4。

図表3 業況判断 DIの推移(前年同期比、業種別、企業規模別)



(ウ) 今期における対前年同期比の業況判断

今期(令和 5 年 1-3 月期)の業況判断 DI(前年同期比)は、全体では 1.3 ポイント下降 し-8.3 となった。令和 4 年 7-9 月期以降は持ち直しのテンポが緩やかとなり、今期は小幅な下降に転じた。業種別では、製造業は下降に転じたが、非製造業は緩やかながら 4 期連続で上昇となった。規模別では、大企業は 2 期連続での下降となったがプラス水準が持続、中小企業は連続上昇から今期はほぼ横ばいとなった。

製造業・非製造業別

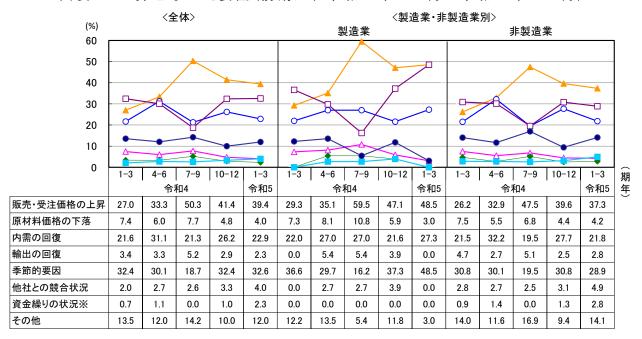
製造業は8.0ポイント下降し-14.4、非製造業は0.8ポイント上昇し-6.3。

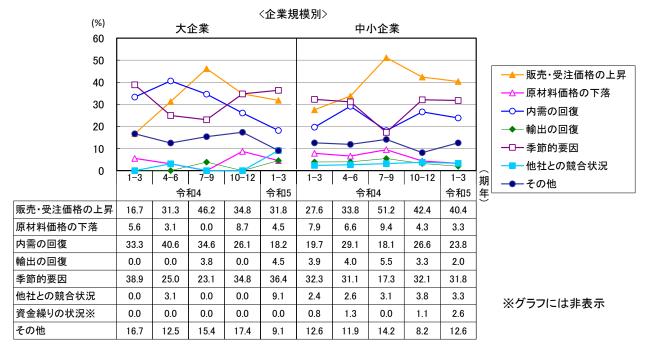
· 大企業·中小企業別

大企業は 10.7 ポイント下降し 14.3、中小企業はほぼ横ばい(0.2 ポイント下降)の-9.4。

(2) 業況への影響要因

図表 4 上昇となった要因(前期比、令和 4年 1-3月~令和 5年 1-3月)





(ア)業況が上昇となった要因

業況が上昇となった要因(2つまでの複数回答)として、全体では、「販売・受注価格の上昇」が2期連続で下降となったが39.4%と最も高く、次いで「季節的要因」がほぼ横ばいで32.6%、「内需の回復」が下降して22.9%となった。

· 製造業·非製造業別

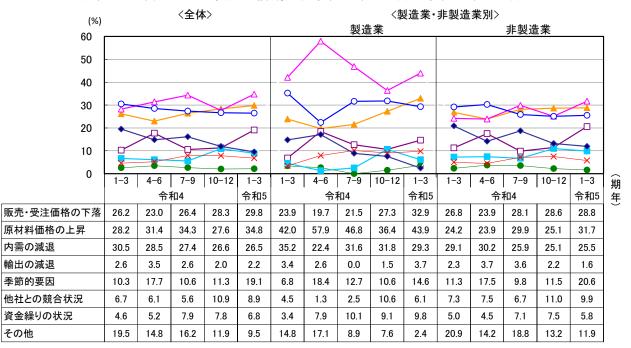
製造業では、「販売・受注価格の上昇」と「季節的要因」が上昇し、ともに 48.5% と最も高く、次いで「内需の回復」が上昇し 27.3%となった。

非製造業では、「販売・受注価格の上昇」が下降し37.3%となったが最も高く、次いで「季節的要因」が下降し28.9%、「内需の回復」が下降し21.8%となった。

· 大企業・中小企業別

大企業では、「季節的要因」が上昇して36.4%と最も高く、次いで「販売・受注価格の上昇」が下降し31.8%、「内需の回復」が3期連続で下降して18.2%となった。中小企業では、「販売・受注価格の上昇」が下降したが40.4%と最も高く、次いで「季節的要因」が横ばいで31.8%、「内需の回復」が下降し23.8%となった。

図表5 下降となった要因(前期比、令和4年1-3月~令和5年1-3月)





(イ)業況が下降となった要因

業況が下降となった要因(2つまでの複数回答)として、全体では、「原材料価格の上昇」が再び上昇に転じて34.8%と最も高く、次いで、「販売・受注価格の下落」も小幅に上昇して29.8%、「内需の減退」がほぼ横ばいで26.5%となった。

· 製造業·非製造業別

製造業では、「原材料価格の上昇」が再び上昇に転じて 43.9%と最も高く、次いで「販売・受注価格の下落」も上昇し 32.9%、「内需の減退」が下降し 29.3%となった。

非製造業では、「原材料価格の上昇」が上昇に転じて31.7%と最も高く、次いで「販売・受注価格の下落」が横ばいの28.8%、「内需の減退」もほぼ横ばいで25.5%となった。

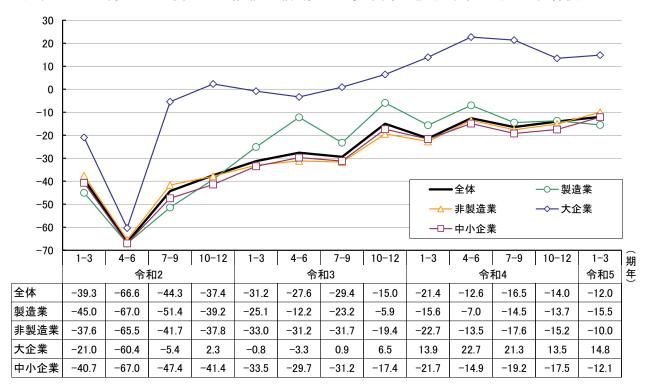
・・大企業・中小企業別

大企業では、「季節的要因」が急上昇し37.5%と最も高く、次いで「内需の減退」が上昇し25.0%、「原材料価格の上昇」が上昇して「その他」とともに18.8%となった。中小企業では、「原材料価格の上昇」が上昇し35.7%と最も高く、次いで「販売・受注価格の下落」と「内需の減退」が小幅に上昇し30.3%、27.6%となった。

2 出荷・売上高

(1) 出荷・売上高

図表 6 出荷・売上高 DI の推移 (前期比・季節調整値、業種別、企業規模別)



(ア) 今期における対前期比の出荷・売上高 (季節調整後)

今期(令和5年1-3月期)の出荷・売上高 DI(前期比)は、全体では2.0ポイント上昇し-12.0 となった。今期の上昇の幅は小さかったものの、2 期連続での上昇により、コロナ禍以降の最高水準を更新した。ただし、業種別では、製造業は小幅ながら下降に転じた。規模別では、大企業、中小企業ともに上昇となった。

製造業・非製造業別

製造業は 1.8 ポイント下降し-15.5、非製造業は 5.2 ポイント上昇し-10.0。

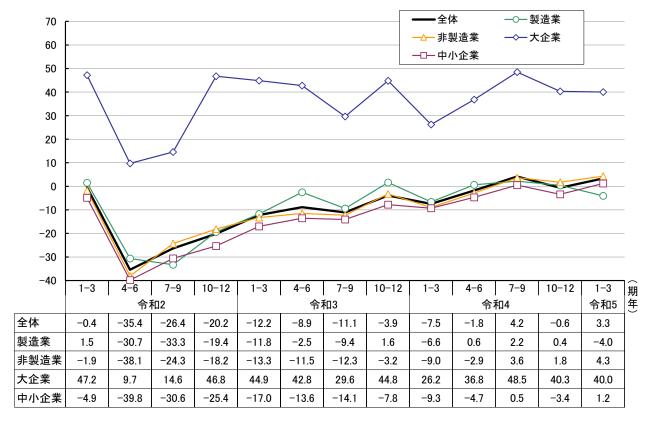
· 大企業 · 中小企業別

大企業は 1.3 ポイント上昇し 14.8、中小企業は 5.4 ポイント上昇し-12.1。

3 営業利益判断、営業利益水準

(1) 営業利益判断

図表7 営業利益判断(黒字または赤字) DI の推移 (季節調整値、業種別、企業規模別)



(ア) 今期における営業利益判断 (季節調整後)

今期(令和5年1-3月期)の営業利益判断 DIは、全体では3.9ポイント上昇し3.3となった。今期は再び上昇して2期ぶりにプラス水準に転じ、総じて緩やかな持ち直しが持続している。ただし、業種別では製造業が下降してマイナス水準に転じた。規模別では、大企業は高いプラス水準で横ばい、中小企業は上昇しプラス水準に回復した。

製造業・非製造業別

製造業は 4.4 ポイント下降 し-4.0、非製造業は 2.5 ポイント上昇 し 4.3。

· 大企業·中小企業別

大企業はほぼ横ばい (0.3 ポイント下降) で 40.0、中小企業は 4.6 ポイント上昇し <math>1.2。

(2) 営業利益水準

30 20 10 0 -10 -20 -30-40 -50 ●全体 一 製造業 -△-非製造業 -60 ─◆ 大企業 一 中小企業 -70 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 期 令和2 令和3 令和4 令和5 全体 -37.8 -62.4 -38.3-38.2-31.0 -27.6 -29.7 -15.3 -23.3 -18.7 -20.7 -19.8 -18.8 製造業 -40.2 -64.7 -44.3 -37.8 -25.8 -24.7 -19.2 -18.9 -14.2-12.5 -20.7 -19.5 -22.6 非製造業 -37.3 -35.5 -32.9 -18.1 -20.7 -20.1 -18.0 -61.8 -38.5-31.8 -30.8-16.4-25.1 大企業 -17.9 -49.8 -4.4 -2.5 13.3 -0.8 -2.1-6.8 20.1 -3.3-2.0 7.1 8.4 中小企業 -39.9-64.9 -40.5 -41.7 -33.7-30.8 -30.2 -18.9 -24.3-21.6 -21.5 -21.6 -20.4

図表 8 営業利益水準(増加または減少) DIの推移 (前期比・季節調整値、業種別、企業規模別)

(ア) 今期における対前期比の営業利益水準 (季節調整後)

今期(令和 5 年 1-3 月期)の営業利益水準 DI(前期比)は、全体では 1.0 ポイント上昇し-18.8 となった。今期も僅かな上昇にとどまり、引き続き顕著な持ち直しは見られなかった。業種別では、製造業のみ小幅な下降に転じたが、規模別では、大企業、中小企業ともに上昇となった。

· 製造業·非製造業別

製造業は3.7ポイント下降し-22.6、非製造業は2.1ポイント上昇し-18.0。

· 大企業·中小企業別

大企業は9.1 ポイント上昇し7.1、中小企業は1.2 ポイント上昇-20.4。

4 原材料価格(仕入価格等)、製・商品単価(サービス・請負価格)

(1)原材料価格(仕入れ価格等)

90 80 --全体 一〇一 製造業 --△-非製造業 70 ─◇─ 大企業 一一 中小企業 60 50 40 30 20 10 0 -10 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 4-6 7-9 10-12 1-3 1-3 期 令和5 年 令和2 令和3 令和4 全体 14.4 -0.9 5.6 7.0 14.0 27.3 38.4 57.8 56.0 66.4 63.2 66.5 62.3 製造業 17.3 4.4 13.4 22.4 45.1 58.6 78.9 77.3 86.7 76.7 77.9 68.6 非製造業 13.3 -2.95.2 5.0 11.3 31.3 50.1 48.9 60.0 58.9 62.9 21.8 60.1 大企業 10.6 64.4 -3.93.9 4.3 17.5 18.9 32.4 47.2 44.3 64.7 55.7 50.9

図表 9 原材料価格 DIの推移(前期比、業種別、企業規模別)

(ア) 今期における対前期比の原材料価格

6.0

7.3

14.2

-0.9

今期(令和5年1-3月期)の原材料価格 DI(前期比)は、全体では4.2ポイント下降し62.3となった。DIの上昇は令和3年から加速し、令和4年3-6月期以降は記録的な高止まりが続いている。今期は下降に転じたものの小幅にとどまり、引き続き高い水準となった。業種別では、製造業は下降に転じたが、依然として非製造業よりも高い水準が持続しており、厳しさがうかがわれる。一方、規模別では、大企業が中小企業の水準を下回って2期連続で下降となった。

28.9

39.3

58.9

58.1

66.7

63.0

67.0

62.8

· 製造業・非製造業別

中小企業

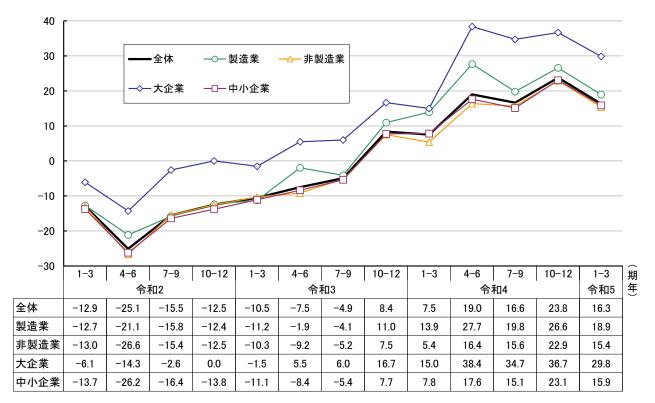
14.5

製造業は 9.3 ポイント下降し 68.6、非製造業は 2.8 ポイント下降し 60.1。

· 大企業·中小企業別

大企業は 4.8 ポイント下降し 50.9、中小企業は 4.2 ポイント下降し 62.8。

(2) 製・商品単価(サービス・請負価格)



図表 10 製・商品単価 DIの推移(前期比、業種別、企業規模別)

(ア) 今期における対前期比の製・商品単価

今期(令和5年1-3月期)の製・商品単価 DI(前期比)は、全体では7.5ポイント下降し16.3となった。DIは令和3年10-12月期以降、過去の水準を上回って推移しており、前期は調査開始(平成14年1-3月期)以来の最高値を更新した。今期は下降に転じたが、依然として高水準が持続している。業種・規模に関わらず下降に転じた。

· 製造業·非製造業別

製造業は 7.7 ポイント下降し 18.9、非製造業は 7.5 ポイント下降し 15.4。

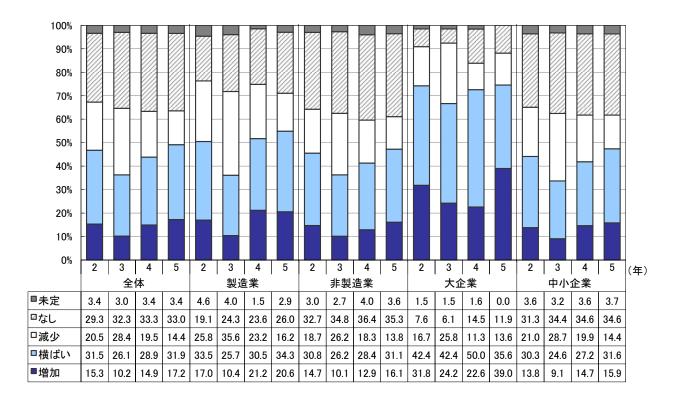
· 大企業·中小企業別

大企業は 6.9 ポイント下降し 29.8、中小企業は 7.2 ポイント下降し 15.9。

5 設備投資

(1) 設備投資

図表 11 設備投資 (今年度計画(前年度実績と比較した増減)、業種別、企業規模別)



(ア)設備投資計画の経年変化

今年度(令和 4 年度)計画を前年度実績と比較した増減は、全体では、「増加」の 17.2%に対して「減少」は 14.4%で、「増加」が上回った。前年同期(令和 4 年 1-3 月期)調査との比較では、「増加」は 2.3 ポイント上昇し、一方で「減少」は 5.1 ポイント下降、「なし」は 0.3 ポイント下降となり、総じて積極化への動きが見られた。

製造業・非製造業別

製造業では、「増加」が 20.6%、「減少」が 16.2%で、「増加」が上回った。前年同期との比較では、「増加」は 0.6 ポイント下降と大きな変化はないが、一方で「減少」が 7.0 ポイント下降しており、「なし」が 2.4 ポイント上昇したものの、積極化への動きが優勢に転じた。

非製造業では、「増加」が 16.1%、「減少」が 13.8%で、「増加」が上回った。前年同期との比較では、「増加」は 3.2 ポイント上昇し、一方で「減少」が 4.5 ポイント、「なし」も 1.1 ポイント下降し、総じて積極化への動きが強まった。

· 大企業·中小企業別

大企業では、「増加」が 39.0%、「減少」が 13.6%で、「増加」が大きく上回った。前年同期との比較では、「増加」は 16.4 ポイントと大幅に上昇し、一方で「減少」も 2.3 ポイント上昇したが、「なし」が 2.6 ポイント下降し、総じて積極化への動きが強まった。

中小企業では、「増加」が 15.9%、「減少」が 14.4%で、「増加」が上回った。 前年同期との比較では、「増加」が 1.2 ポイント上昇し、一方で「減少」は 5.5 ポイント下降し、「なし」は横ばいで、総じて積極化への動きが僅かながら見られた。

6 資金繰り

(1)資金繰り

80 70 60 50 全体 **─**○─ 製造業 40 --△-非製造業 --◇-- 大企業 ─□ 中小企業 30 20 10 0 -10 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 期 令和2 令和3 令和4 令和5 玍 全体 15.2 -2.3 5.5 8.6 11.5 16.9 11.1 19.7 10.9 15.8 16.2 15.3 14.5 製造業 23.1 7.8 9.7 14.9 17.6 26.5 16.8 13.1 19.7 20.4 17.2 13.9 12.3 非製造業 12.4 -5.8 4.1 6.8 9.6 14.0 10.4 19.7 8.9 14.5 15.9 15.8 15.3 大企業 48.7 61.8 44.3 55.7 57.6 63.5 58.8 74.3 54.8 61.1 51.4 61.3 48.3 中小企業 10.7 -6.4 13.4 7.5 14.1 12.7 11.8 12.4 1.2 5.0 7.1

図表 12 資金繰り DI の推移 (業種別、企業規模別)

(ア) 今期における資金繰り

今期(令和 5 年 1-3 月期)における資金繰り DI は、全体では 0.8 ポイント下降し 14.5 となった。令和 4 年 7-9 月期以降、大きな動きが見られない状況が持続している。業種別では、製造業は 3 期連続で下降、非製造業では横ばいとなった。規模別では、大企業が下降、一方、中小企業は上昇し、異なる動きとなった。

製造業・非製造業別

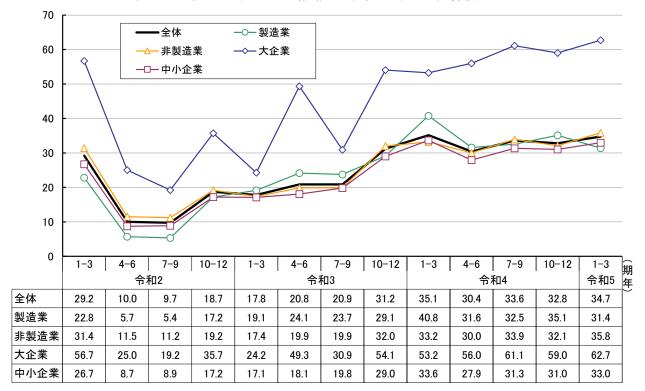
製造業は 1.6 ポイント下降し 12.3、非製造業は 0.5 ポイント下降し 15.3。

· 大企業·中小企業別

大企業は13.0ポイント下降し48.3、中小企業は0.6ポイント上昇し12.4。

7 雇用状況、従業者数(来期予定)

(1) 雇用状況



図表 13 雇用不足 DI の推移 (業種別、企業規模別)

(ア) 今期における雇用状況

今期(令和5年1-3月期)の雇用不足DIは、全体では1.9ポイント上昇し34.7となった。今期も大幅な動きは見られず、雇用不足の改善が見られない状況となった。業種別では製造業で下降、非製造業で上昇となり、異なる動きとなったが、規模別では大企業、中小企業ともに上昇となった。

· 製造業·非製造業別

製造業は3.7ポイント下降し31.4、非製造業は3.7ポイント上昇し35.8。

· 大企業·中小企業別

大企業は3.7ポイント上昇し62.7、中小企業は2.0ポイント上昇し33.0。

(2) 来期の従業者数の見通し

全体 一〇一 製造業 20 ─◇─ 大企業 △ 非製造業 -□-中小企業 15 10 5 0 -5 -10 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 期 令和2 令和3 令和4 令和5 年 全体 -2.9-5.8-5.2 -4.8 -4.7-1.3-2.2 -1.2 -4.01.6 2.8 -1.0-0.1 製造業 -3.5-4.9-3.1-0.3 -2.0-0.8-0.2 -0.7-3.80.6 3.4 -6.01.2 非製造業 -2.7 -6.0 -5.8 -6.6-5.3 -1.4-2.9-1.6-3.8 1.8 2.4 0.5 -0.4大企業 8.5 3.1 9.4 7.1 -5.2 8.1 8.6 10.6 2.8 9.0 8.1 12.8 21.6 中小企業 -4.1-6.5-6.6 -5.8 -4.5 -2.5 -2.8 -2.6 -4.3 1.1 2.6 -2.6 -1.0

図表 14 来期の従業者数の見通し DIの推移 (季節調整値、業種別、企業規模別)

(ア) 来期の従業者数の見通し (季節調整後)

来期(令和 5 年 4-6 月期)の従業者数の見通し DI は、全体では 0.9 ポイント上昇して-0.1 となり、前期に対してほぼ増減なしの状況となった。業種別では製造業が上昇してプラス水準になったのに対して、非製造業は小幅な下降となった。規模別では大企業が 2 期連続で上昇しさらに高いプラス水準となったが、中小企業は小幅な上昇にとどまった。

製造業・非製造業別

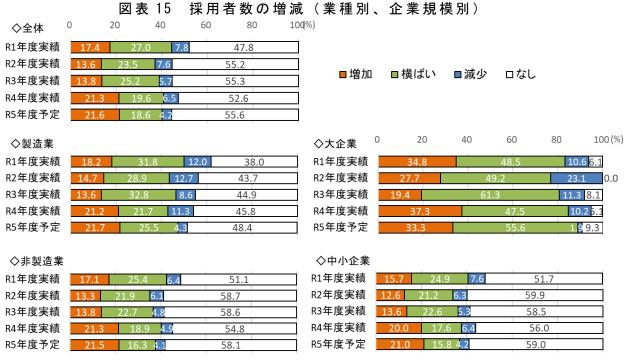
製造業は 7.2 ポイント上昇し 1.2、非製造業は 0.9 ポイント下降し-0.4。

· 大企業·中小企業別

大企業は8.8 ポイント上昇し21.6、中小企業は1.6 ポイント上昇し-1.0。

8 今回の特設項目

(1) 採用者数の増減



*各年とも1-3月期調査の結果。経年比較を行うために「未定」とする回答を除いて集計。

(ア)採用者の増減

令和 4 年度の採用実績は、全体では、「増加」が 7.5 ポイント上昇し 21.3%、「横ばい」が 5.6 ポイント下降し 19.6%、「減少」が 0.8 ポイント上昇し 6.5%、「なし」が 2.7 ポイント下降し 52.6%となり、採用者数を増加させた企業が顕著に上昇した。

令和 5 年度の採用予定は、「増加」は前年度(令和 4 年度)実績から大きな変化はなく 21.6%、「横ばい」が 1.0 ポイント下降して 18.6%、「減少」が 2.3 ポイント下降して 4.2%となった。令和 5 年度でも「増加」が「減少」を上回ったが、一方で「なし」が 3.0 ポイント上昇して 55.6%となるなど、一部の企業では採用の停止も見られた。

· 製造業·非製造業別

製造業の令和 4 年度実績では、「増加」が顕著に上昇し 21.2%、「横ばい」は大幅に下降し 21.7%、「減少」は上昇し 11.3%、「なし」は小幅に上昇し 45.8%となった。令和 5 年度予定は、「増加」はほぼ横ばいで、「減少」が下降し、「増加」が「減少」をさらに大きく上回ったが、「横ばい」と「なし」も上昇となった。

非製造業の令和 4 年度実績は、「増加」が顕著に上昇し 21.3%、「横ばい」は下降し 18.9%、「減少」はほぼ横ばいの 4.9%、「なし」は下降し 54.8%となった。令和 5 年度予定は、「増加」はほぼ横ばいで、「横ばい」と「減少」が下降し、「増加」が「減少」をさらに大きく上回ったが、「なし」は上昇となった。

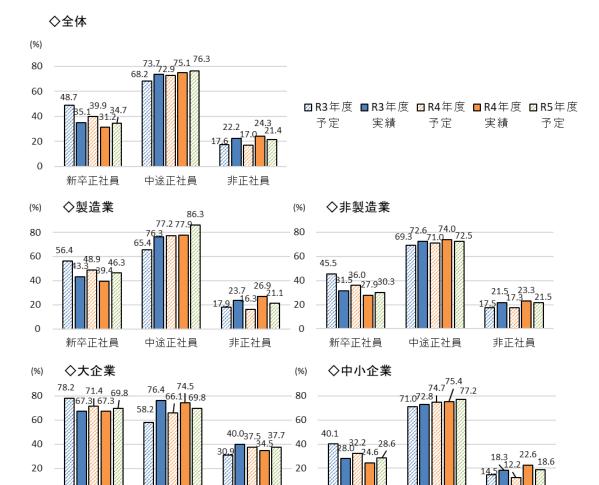
大企業・中小企業別

大企業の令和 4 年度実績では、「増加」が大幅に上昇し 37.3%、「横ばい」は下降し 47.5%、「減少」は小幅に下降し 10.2%、「なし」は下降し 5.1%となった。令和 5 年度予定は、「増加」は下降となるが、引き続き「減少」を大幅に上回り、「横ばい」と「なし」が上昇となった。

中小企業の令和 4 年度実績は、「増加」が顕著に上昇し 20.0%、「横ばい」が下降し 17.6%、「減少」は小幅に下降し 6.4%、「なし」は下降し 56.0%となった。令和 5 年度予定は、「増加」は小幅に上昇し、「横ばい」と「減少」が下降したが、「なし」は上昇となった。

(2)採用者の雇用形態

図表 16 採用者の雇用形態 (業種別、企業規模別)



*各年とも 1-3 月期調査の結果。なお、前年度(令和 4 年度)までは、非正社員も新卒と中途に分けて質問してきたが、新卒非正社員についてはほとんど該当がなく、今年度からは非正社員としてまとめて質問している。よって、令和 3 年の非正社員の数値は厳密には中途非正社員の値。

新卒正社員

中途正社員

非正社員

非正社員

(ア)採用者の雇用形態

新卒正社員

中途正社員

0

令和 4 年度の採用実績について、全体では、「新卒正社員」は対前年度実績で 3.9 ポイント下降して 31.2%となり、当初予定よりも 8.7 ポイント下降した。一方、「中途正社員」が前年度(令和 3 年度)実績と比較して 1.4 ポイント上昇し 75.1%となり、当初の採用予定よりも 2.2 ポイント上昇した。「非正社員」は対前年度実績で 2.1 ポイント上昇し 24.3%となり、当初予定よりも 7.3 ポイント上昇した。総じて、新卒正社員での実績は前年度実績よりも低く、逆に中途正社員と非正社員の実績は増加傾向が見られた。

令和5年度の採用予定は、前年度(令和4年度)予定と比較して「新卒正社員」は5.2ポイント下降して34.7%となった。一方、「中途正社員」は3.4ポイント上昇して76.3%、「非正社員」は4.4ポイント上昇して21.4%となった。「新卒正社員」の採用は2年連続で下降し、「中途正社員」は2年連続で上昇となった。

製造業•非製造業別

製造業では、令和 4 年度の「新卒正社員」の採用実績は前年度実績よりも 3.9 ポイント下降して 39.4%となり、当初の採用予定よりも 9.5 ポイント下降した。「中途正社員」の採用実績は 1.6 ポイント上昇して 77.9%となり、予定よりも 0.7 ポイント上昇した。「非正社員」の採用実績は 3.2 ポイント上昇して 26.9%となり、予定よりも 10.6 ポイント上昇した。

令和 5 年度の採用予定は「新卒正社員」では前年度予定よりも 2.6 ポイント下降して 46.3%となった。一方、「中途正社員」は 9.1 ポイント上昇し 86.3%、「非正社員」は 4.8 ポイント上昇し 21.1%となった。

非製造業では、令和 4 年度の「新卒正社員」の採用実績は前年度実績よりも 3.6 ポイント下降し 27.9%となり、当初の採用予定よりも 8.1 ポイント下降した。「中途正社員」の採用実績は 1.4 ポイント上昇して 74.0%となり、予定より 3.0 ポイント上昇した。「非正社員」の採用実績は 1.8 ポイント上昇して 23.3%となり、予定よりも 6.0 ポイント上昇した。

令和 5 年度の採用予定は「新卒正社員」では前年度予定よりも 5.7 ポイント下降して 30.3%、一方、「中途正社員」は 1.5 ポイント上昇して 72.5%、「非正社員」は 4.2 ポイント上昇して 21.5%となった。

大企業・中小企業別

大企業の令和 4 年度の「新卒正社員」の採用実績は前年度実績から横ばいで67.3%となり、当初の採用予定よりも 4.1 ポイント下降した。「中途正社員」の採用実績は 1.9 ポイント下降して 74.5%となり、予定より 8.4 ポイント上昇した。「非正社員」の採用実績は 5.5 ポイント下降して 34.5%となり、採用予定よりも 3.0 ポイント下降した。

令和 5 年度の採用予定は「新卒正社員」では前年度予定よりも 1.6 ポイント下降して 69.8%、一方、「中途正社員」は 3.7 ポイント上昇して 69.8%、「非正社員」はほぼ横ばい(0.2 ポイント上昇)の 37.7%となった。

中小企業の令和 4 年度の「新卒正社員」の採用実績は前年度実績よりも 3.4 ポイント下降して 24.6%となり、当初の採用予定よりも 7.6 ポイント下降した。「中途正社員」の採用実績は 2.6 ポイント上昇して 75.4%となり、予定より 0.7 ポイント上昇した。「非正社員」の採用実績は前年度実績よりも 4.3 ポイント上昇して 22.6%となり、予定よりも 10.4 ポイント上昇した。

令和 5 年度の採用予定は、「新卒正社員」では前年度予定よりも 3.6 ポイント下降して 28.6%、一方、「中途正社員」は 2.5 ポイント上昇して 77.2%、「非正社員」は 6.4 ポイント上昇して 18.6% となった。

表1 集計表詳細

1(1) 業況判断

			前期比			前年同期比				来期の業況見通し				
	構成比(%)			DI		構成比(%)			構成比(%)			DI		
	上 昇	横ばい	下 降		季調済	上 昇	横ばい	下 降	DI	上 昇	横ばい	下 降		季調済
全 体	20.8	40.5	38.7	-17.9	-12.1	25.7	40.2	34.0	-8.3	25.7	41.6	32.7	-7.1	-6.1
製造業	15.9	44.4	39.6	-23.7	-19.4	23.3	39.1	37.6	-14.4	22.3	44.7	33.0	-10.7	-12.4
非製造業	22.4	39.2	38.4	-16.0	-10.5	26.5	40.6	32.8	-6.3	26.8	40.6	32.6	-5.8	-6.9
大企業	37.3	35.6	27.1	10.2	16.2	37.5	39.3	23.2	14.3	42.4	30.5	27.1	15.3	19.6
中小企業	19.9	40.9	39.2	-19.3	-12.6	25.2	40.2	34.6	-9.4	24.8	42.6	32.5	-7.7	-7.4

1(2) 業況への影響要因―上昇・下降となった要因(前期比較の業況判断、2つまでの複数回答)

1(2) **/// ***//	((2) 未沈、の影音安囚一工并、下阵となりに安囚(削拗比戦の未沈刊間、とりよくの後数回音)															
		_	上昇と	: なっ	た要	因 (%))		下 降 と な っ た 要 因 (%)							
	販売・ 受注 価格の 上昇	原材料 価格や コスト の下落	内需の 回復	輸出の 回復	季節 的 要因	他社と の競合 状況	資金繰 りの状 況	その他	価格の	原材料 価格や コスト の上昇	内需の 減退	輸出の 減退	季節 的 要因	他社と の競合 状況		その他
全 体	39.4	4.0	22.9	2.3	32.6	4.0	2.3	12.0	29.8	34.8	26.5	2.2	19.1	8.9	6.8	9.5
製造業	48.5	3.0	27.3	0.0	48.5	0.0	0.0	3.0	32.9	43.9	29.3	3.7	14.6	6.1	9.8	2.4
非製造業	37.3	4.2	21.8	2.8	28.9	4.9	2.8	14.1	28.8	31.7	25.5	1.6	20.6	9.9	5.8	11.9
大企業	31.8	4.5	18.2	4.5	36.4	9.1	0.0	9.1	6.3	18.8	25.0	6.3	37.5	6.3	0.0	18.8
中小企業	40.4	3.3	23.8	2.0	31.8	3.3	2.6	12.6	30.3	35.7	27.6	2.0	17.5	9.1	7.4	9.1

2 出荷・売上高

2 田何 冗上局												
		出荷·売上高										
	構	成比(%		OI								
	増加	横ばい		季調済								
全 体	19.8	42.2	38.0	-18.2	-12.0							
製造業	17.6	43.4	39.0	-21.5	-15.5							
非製造業	20.5	41.8	37.7	-17.2	-10.0							
大企業	34.5	39.7	25.9	8.6	14.8							
中小企業	18.8	42.7	38.5	-19.6	-12.1							

3	営業利益判断、	営業利益水準

5 古朱竹並刊前、古朱竹並小丰											
		営	業利益判	断		営業利益水準					
	椲	成比(%)		OI	樟	成比(%	5)	DI		
	黒字	黒字 収支 赤字			季調済	増加	横ばい	減少		季調済	
全 体	28.9	42.3	28.9	0.0	3.3	14.4	47.3	38.2	-23.8	-18.8	
製造業	24.8	45.6	29.6	-4.9	-4.0	13.2	46.8	40.0	-26.8	-22.6	
非製造業	30.2	41.2	28.6	1.6	4.3	14.9	47.5	37.6	-22.8	-18.0	
大企業	50.8	50.8 35.6 13.6			40.0	27.6	48.3	24.1	3.4	7.1	
中小企業	27.8	42.4	29.8	-2.0	1.2	13.7	47.0	39.2	-25.5	-20.4	

4 原材料価格(仕入価格等)、製・商品単価(サービス・請負価格)

1 W 10 10 10 1	上ノス国ニ	1八個位寺/、教 向加千個(ノ こハ 明見個位/										
		原材料	斗価村	各		製∙商品単価						
	杮	婧 成比(%	5)			樟	成比(%	5)				
	上 昇	横ばい	下	落	DI	上 昇	横ばい	下落	DI			
全 体	65.9	30.4		3.7	62.3	29.8	56.7	13.5	16.3			
製造業	72.0	24.6		3.4	68.6	31.6	55.8	12.6	18.9			
非製造業	63.9	32.4		3.8	60.1	29.2	57.0	13.8	15.4			
大企業	52.6	45.6		1.8	50.9	36.8	56.1	7.0	29.8			
中小企業	66.7	29.4		3.9	62.8	29.3	57.3	13.4	15.9			

5 設備投資

3 政開放貝													
		設備投資(前年度実績比)											
	00000000	構成比(%)											
	増	増加 横ばい 減 少 なし 未 定											
全 体		17.2	31.9	14.4	3	33.0		3.4					
製造業		20.6	34.3	16.2	2	26.0		2.9					
非製造業		16.1	31.1	13.8	3	35.3		3.6					
大企業		39.0	35.6	13.6	3.6 11.9	1.9		0.0					
中小企業		15.9	31.6	14.4	3	34.6		3.7					

6 資金繰り

6 負金繰り										
	資金繰り									
	樟	構成比(%)								
	順調	どちらと 順調 もいえ 窮屈 ない								
全 体	37.4	39.7	22.9	14.5						
製造業	33.3	45.6	21.1	12.3						
非製造業	38.7	37.8	23.5	15.3						
大企業	56.9	34.5	8.6	48.3						
中小企業	36.3	39.9	23.8	12.4						

7 雇用状況、従業者数(来期予定)

<u>/ 推加がル、収</u>	* D X \										
		雇用	状況		従業者数(来期予定)						
	構	成比(%)		杮	成比(%)		ΟI		
	不足	不足 充足 過剰		DI	増加	横ばい	減少		季調済		
全 体	43.3	48.2	8.6	34.7	13.2	77.1	9.7	3.6	-0.1		
製造業	44.6	42.2	13.2	31.4	15.3	74.9	9.9	5.4	1.2		
非製造業	42.8	50.2	7.0	35.8	12.6	77.8	9.6	2.9	-0.4		
大企業	66.1	30.5	3.4	62.7	37.9	55.2	6.9	31.0	21.6		
中小企業	41.9	49.2	8.9	33.0	11.4	79.1	9.5	1.9	-1.0		

8 特設項目 ① 2022年度の採用実績

① 2022 一及07											
	2022年度採用実績										
	構成比(%)										
	増加	横ばい	減少	なし							
全 体	21.3	21.3 19.6 6.5 52.6									
製造業	21.2	21.7	11.3	45.8							
非製造業	21.3	18.9	4.9	54.8							
大企業	37.3	37.3 47.5 10.2 5.1									
中小企業	20.0	17.6	6.4	56.0							

② 2022年度採用者(実績)

2022年度]	マロカ マスト	リリノ アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
	2022年度採用実績の内訳											
	棒	構成比(%)										
	新卒	新卒 中途 非正社										
	正社員	正社員 正社員 員										
全 体	31.2	75.1	24.3									
製造業	39.4	77.9	26.9									
非製造業	27.9	74.0	23.3									
大企業	67.3	74.5	34.5									
中小企業	24.6	75.4	22.6									

③ 2023年度の採用予定

3 2023年度の	1不川 パル												
	2023年度採用予定												
	構成比(%)												
	増加 横ばい 減少 なし 未定												
全 体	19.2	16.6	3.7	49.5	11.0								
製造業	19.6	23.0	3.9	43.6	9.8								
非製造業	19.0	14.4	3.6	51.5	11.4								
大企業	31.0	51.7	1.7	8.6	6.9								
中小企業	18.6	14.0	3.7	52.3	11.5								

② 2023年度採用者(予定)

<u>4</u> 2023年度採	用有(下)	E)									
	2023年度採用実績の内訳										
	構	成比(%	5)								
	新卒	中途	非正社								
	正社員	正社員	員								
全 体	34.7	76.3	21.4								
製造業	46.3	86.3	21.1								
非製造業	30.3	72.5	21.5								
大企業	69.8	69.8	37.7								
中小企業	28.6	77.2	18.6								

表2 DI推移表

				114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	*	前回調査
			令和	令和1		令?	和2		***************************************	令	和3	,		令:	和4	ç	令和5	前回調査と の比較	の見通しと
			<u>四半期</u> 合 計	10~12 -21.1	1~3 -47.6	4~6 -69.4	7~9 -43.4	10~12 -29.6	1~3 -36.7	4~6 -31.2	7~9 -29.0	10~12 -4.6	1~3 -28.4	4~6 -17.7	7~9 -17.1	10~12 -9.3	1~3 -17.9	▲ 8.6	の比較 ▲ 7.4
		原	製造業	-23.6	-51.3	-71.5	-53.0	-28.2	-27.8	-17.0	-23.3	9.9	-22.5	-18.5	-20.6	-7.2	-23.7	▲ 16.5	▲ 16.3
	~	数 値	非製造業 大企業	-20.2 -19.0	-46.4 -25.0	-68.7 -61.7	-40.1 3.8	-30.0 1.4	-39.3 -6.1	-35.4 -12.0	-30.9 10.3	-9.6 17.6	-30.3 3.2	-17.5 20.0	-16.1 20.8	-9.9 23.0	-16.0 10.2	▲ 6.1 ▲ 12.8	▲ 4.6 ▲ 11.1
	前期	IIE	ハ正来 中小企業	-21.5	-49.9	-70.7	-47.3	-31.8	-39.5	-32.8	-31.9	-5.8	-29.9	-20.3	-20.0	-11.4	-19.3	▲ 7.9	▲ 6.7
	比	*	合計	-30	-41.1	-65.8	-45	-38	-30.1	-27.9	-30.8	-12.4	-22.3	}	-18.7	-16.7	-12.1	4.6	▲ 1.3
	\smile	季 調	製造業 非製造業	-34.4 -29.4	-47.6 -40.1	-64.5 -66.1	-53.1 -40.0	-38.8 -38.7	-23.7 -33.2	-10.6 -32.9	-23.6 -31.1	-0.1 -17.7	-18.3 -24.6	2	-20.9 -16.2	-16.6 -17.7	-19.4 -10.5	▲ 2.8 7.2	▲ 10.8 ▲ 2.2
		済	大企業	-22.6	-20.7	-54.2	-4.41	-2.1	-1.4	-5.2		14.0	8.5	26.1	13.0	19.1	16.2	▲ 2.9	▲ 6.2
	_		<u>中小企業</u> 合 計	-31.4 -30.2	-42.6 -51.6	-67.7 -75.4	-47.8 -67.3	-41.6 -57.0	-32.1 -44.6	-29.9 -22.8	-32.5 -26.5	-15.1 -8.7	-22.9 -23.5	-17.5 -11.7	-20.4 -9.3	-20.5 -7.0	-12.6 -8.3	7.9 A 1.3	0.5
業況	前	同	製造業	-31.4	-57.3	-78.9	-76.0	-63.6	-38.3	-12.1	-13.1	6.8	-20.4	ş	-13.7	-6.4	-14.4	▲ 8.0	
判	年	期	非製造業	-29.7 -21.5	-49.7 -38.8	-74.2 -62.5	-64.2	-55.0 -34.8	-46.5 -24.6	-26.0 4.2	\$	-14.2 20.6	-24.6	-11.5	-7.9	-7.1 25.0	-6.3	0.8	
断		比	大企業 中小企業	-21.5 -31.4	-38.8 -52.9	-62.5 -76.8	-65.3 -67.3	-34.8 -58.7	-24.6 -46.8	4.2 -25.0		-10.6	5.0 -24.8	30.6 -14.9	36.4 -12.4	-9.2	14.3 -9.4	▲ 10.7 ▲ 0.2	
		Æ	合計	-23.9	-44.8	-52.1	-44.2	-42.8	-24.0	-22.8	-22.2	-11.9	-17.5	-10.4	-9.5	-10.5	-7.1	3.4	
	<u>_</u>	原数	製造業 非製造業	-24.9 -23.6	-44.0 -45.0	-58.3 -49.9	-50.2 -42.1	-39.6 -43.7	-12.5 -27.4	-21.1 -23.3	-16.6 -24.0	1.5 -16.4	-14.4 -18.5	-15.0 -9.0	-3.9 -11.2	-7.4 -11.4	-10.7 -5.8	▲ 3.3 5.6	
	来期	値	大企業	-1.3	-33.3	-5.0	-19.5	-2.9	6.1	25.7	15.2	22.2	12.9	32.0	15.5	21.3	15.3	▲ 6.0	
	見		<u>中小企業</u> 合 計	-26.4 -24.6	-45.9 -43.8	-56.8 -51.0	-45.9 -45.4	-46.4 -43.8	-26.4 -22.7	-27.0 -22.0	-24.8 -23.4	-14.6 -12.4	-19.2 -16.5	-13.6 -10.1	-11.3 -10.5	-12.6 -10.8	-7.7 -6.1	4.9	<u>の比較</u> 6.0
	通し	季	製造業	-26.1	-45.1	-51.6	-51.3	-43.6 -41.1	-13.8	-17.4		0.1	-16.0	÷	-10.5 -4.4	-8.6	-12.4	▲ 3.8	7.0
	\sim	調済	非製造業 士企業	-21 -1.4	-46.4 -20.7	-50.2	-43.1	-41 -26	-28.7	-24.0		-13.4	-19.8	;	-12.0	-8.3	-6.9	1.4	3.6
		/F	大企業 中小企業	-1.4 -27.1	−29.7 −45.7	-12.3 -54.5	-16.1 -47.4	-2.6 -47.5	10.1 -25.9	17.5 -24.9	18.6 -26.3	23.1 -15.4	17.1 -18.8	23.1 -12.0	19.2 -12.6	22.4 -13.1	19.6 -7.4	▲ 2.8 5.7	3.4 5.2
		-	合 計	-21.7	-46.0	-70.0	-43.5	-28.2	-38.1	-30.5	-28.6	-6.4	-27.9	-15.2	-15.8	-5.9	-18.2	▲ 12.3	
Щ	4	原数	製造業 非製造業	-16.6 -23.5	-50.0 -44.7	-74.6 -68.4	-52.6 -40.4	-25.3 -29.1	-30.9 -40.3	-18.9 -33.9	-24.1 -30.0	7.0 -11.2	-21.5 -30.0	2	-15.3 -16.0	-1.5 -7.2	-21.5 -17.2	▲ 20.0 ▲ 10.0	
右		値	大企業	-24.1	-25.0	-69.1	1.3	8.6	-6.1	-10.7	7.5	12.5	8.1	16.2	27.8	19.4	8.6	▲ 10.8	
売	Ę.		中小企業	-21.5 -31.4	-48.1 -39.3	-70.2 -66.6	-47.3 -44.3	-31.0 -37.4	-41.2	-32.5 -27.6	-31.1 -29.4	-7.2 -15.0	-29.3 -21.4	-17.4 -12.6	-19.3 -16.5	-7.5 -14.0	-19.6	▲ 12.1 2.0	
		季	<u>合 計</u> 製造業	-30.6	-39.3 -45	-67.0	-51.4	-37.4 -39.2	-31.2 -25.1	-12.2	6	-5.9	-15.6	-7.0	-14.5	-13.7	-12.0 -15.5	2.0 ▲ 1.8	
高	5	調	非製造業	-32.7	-37.6	-65.5	-41.7	-37.8	-33.0	-31.2	-31.7	-19.4	-22.7	-13.5	-17.6	-15.2	-10.0	5.2	
		済	大企業 中小企業	-30.3 -32.2	-21 -40.7	-60.4 -67	-5.45 -47.4	2.3 -41.4	-0.8 -33.5	-3.3 -29.7		6.5 -17.4	13.9 -21.7	22.7 -14.9	21.3 -19.2	13.5 -17.5	14.8 -12.1	1.3 5.4	
			合 計	9.9	-2.8	-35.8	-29.9	-13.6	-15.0	-8.8	-15.2	3.0	-10.5	-1.2	-0.5	6.6	0.0	▲ 6.6	
堂	ŕ	原数	製造業 非製造業	13.3 8.7	1.5 -4.3	-31.0 -37.5	-38.2 -27.1	-14.0 -13.5	-12.2 -15.8	-2.4 -10.7		7.0 1.6	-7.2 -11.6	1.0 -1.9	-3.0 0.3	5.8 6.8	-4.9 1.6	▲ 10.7 ▲ 5.2	
業		値	大企業	50.0	47.8	6.3	11.5	53.6	43.9	40.5	\$************	53.4	24.2	35.1	43.1	50.0	37.3	▲ 12.7	
利益			中小企業	5.4	-7.5	-39.6	-34.2	-19.2	-19.9	-13.1	-18.1	-1.4	-12.3	-3.8	-3.9	3.2	-2.0	▲ 5.2	
半		季	<u>合 計</u> 製造業	3.8 8.0	-0.4 1.5	-35.4 -30.7	-26.4 -33.3	-20.2 -19.4	-12.2 -11.8	-8.9 -2.5	-11.1 -9.4	-3.9 1.6	-7.5 -6.6	-1.8 0.6	4.2 2.2	-0.6 0.4	3.3 -4.0	3.9 ▲ 4.4	
出		調	非製造業	4.1	-1.9	-38.1	-24.3	-18.2	-13.3	-11.5		-3.2	-9.0	-2.9	3.6	1.8	4.3	2.5	
		済	大企業 中小企業	45.0 -0.5	47.2 -4.9	9.7 -39.8	14.6 -30.6	46.8 -25.4	44.9 -17.0	42.8 -13.6	29.6 -14.1	44.8 -7.8	26.2 -9.3	36.8 -4.7	48.5 0.5	40.3 -3.4	40.0 1.2	▲ 0.3 4.6	
			合 計	-20.9	-42.9	-65.0	-38.0	-30.8	-36.2	-30.1	-29.4	-8.0	-28.5	1	-20.5	-12.6	-23.8	▲ 11.2	
堂	ŕ	原数	製造業 非製造業	-19.1 -21.6	-45.0 -42.2	-67.6 -64.2	-45.6 -35.4	-29.0 -31.3	-30.8 -37.8	-16.7 -34.1	-25.7 -30.6	-4.3 -9.4	-23.8 -30.0	-23.3 -20.4	-20.4 -20.5	-11.1 -13.0	-26.8 -22.8	▲ 15.7 ▲ 9.8	
業		値	大企業	-15.4	-19.4	-57.0	5.1	-1.5	-4.5	-8.3	9	23.3	-6.5	8.2	13.2	1.6	3.4	1.8	
利益			中小企業	-21.5	-45.2	-66.4			-39.2	-32.2			-29.6	1				▲ 11.9	
力		季	<u>合</u> 計 製造業	-28.6 -28.2	-37.8 -40.2	-62.4 -64.7	-38.3 -44.3	-38.2 -37.8	-31.0 -25.8	-27.6 -14.2	6	-15.3 -12.5	-23.3 -19.2		-20.7 -19.5	-19.8 -18.9	-18.8 -22.6	1.0 ▲ 3.7	
準	Ē	調	非製造業	-29.1	-37.3	-61.8	-35.5	-38.5	-32.9	-31.8	\$	-16.4	-25.1	-18.1	-20.7	-20.1	-18.0	2.1	
		済	大企業 中小企業	-18.2 -30.0	-17.9 -39.9	-49.8 -64.9	-0.8 -40.5	-4.4 -41.7	-2.1 -33.7	-2.5 -30.8		20.1 -18.9	-3.3 -24.3	3	8.4 -21.5	-2.0 -21.6	7.1 -20.4	9.1 1.2	
			合 計	27.5	14.4	-0.9	5.6	7.0	14.0	27.3	38.4	57.8	56.0	66.4	63.2	66.5	62.3	▲ 4.2	
	材料		製造業 非製造業	23.7 28.9	17.3 13.3	4.4 -2.9	6.6 5.2	13.4 5.0	22.4 11.3	45.1 21.8	58.6 31.3	78.9 50.1	77.3 48.9	86.7 60.0	76.7 58.9	77.9 62.9	68.6 60.1	▲ 9.3 ▲ 2.8	
1	価格	i	_{非器坦未} 大企業	11.7	10.6	-2.9 -3.9	3.9	4.3	17.5	18.9	***************************************	47.2	44.3	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	58.9 64.7	55.7	50.9	▲ 2.8 ▲ 4.8	
<u></u>			中小企業	29.4	14.5	-0.9	6.0	7.3	14.2	28.9		58.9	58.1	66.7	63.0	67.0	62.8	▲ 4.2	
4:11	I. a ≠	_	<u>合 計</u> 製造業	-0.3 -3.5	-12.9 -12.7	-25.1 -21.1	-15.5 -15.8	-12.5 -12.4	-10.5 -11.2	-7. <u>5</u> -1.9	-	8.4 11.0	7.5 13.9	19.0 27.7	16.6 19.8	23.8 26.6	16.3 18.9	▲ 7.5 ▲ 7.7	
	!•商 単価		非製造業	0.9	-13.0	-26.6	-15.4	-12.5	-10.3	-9.2	-5.2	7.5	5.4	16.4	15.6	22.9	15.4	▲ 7.5	
			大企業 中小企業	1.3 -0.4	-6.1 -13.7	-14.3 -26.2	-2.6 -16.4	0.0 -13.8	-1.5 -11.1	5.5 -8.4		16.7 7.7	15.0 7.8	38.4 17.6	34.7 15.1	36.7 23.1	29.8 15.9	▲ 6.9 ▲ 7.2	
			合 計	22.9	15.2	-2.3	5.5	8.6	11.5	16.9	11.1	19.7	10.9	15.8	16.2	15.3	14.5	▲ 0.8	
咨	金繰	≟l]	製造業 非製造業	30.8 20.1	23.1 12.4	7.8 -5.8	9.7 4.1	14.9 6.8	17.6 9.6	26.5 14.0		19.7 19.7	16.8 8.9	20.4 14.5	17.2 15.9	13.9 15.8	12.3 15.3	▲ 1.6 ▲ 0.5	
貝	业附	. /	非妥坦未 大企業	70.5	61.8	-5.8 44.3	4.1	55.7	9.6 57.6	63.5	900000000000000000000000000000000000000	74.3	54.8	61.1	51.4	61.3	48.3	▲ 13.0	
\vdash			中小企業	17.5	10.7	-6.4	1.2	5.0	7.1	13.4		14.1	8.0	12.7	13.4	11.8	12.4	0.6	
			<u>合</u> 計 製造業	35.9 31.7	29.2 22.8	10.0 5.7	9.7 5.4	18.7 17.2	17.8 19.1	20.8 24.1	20.9 23.7	31.2 29.1	35.1 40.8	30.4 31.6	33.6 32.5	32.8 35.1	34.7 31.4	1.9 ▲ 3.7	
雇	用状	況	非製造業	37.4	31.4	11.5	11.2	19.2	17.4	19.9	19.9	32.0	33.2	30.0	33.9	32.1	35.8	3.7	
			大企業 中小企業	64.6 32.5	56.7 26.7	25.0 8.7	19.2 8.9	35.7 17.2	24.2 17.1	49.3 18.1	30.9 19.8	54.1 29.0	53.2 33.6	1	61.1 31.3	59.0 31.0	62.7 33.0	3.7 2.0	
			合 計	-0.1	1.0	-6.7	-6.9	-6.2	-0.8	-2.1	-3.9	-2.5	-0.2	0.8	1.1	-2.3	3.6	5.9	
		原 数	製造業 非製造業	1.0 -0.5	1.5 0.9	-6.5 -6.7	-5.3 -7.5	-1.1 -7.7	2.5 -1.8	-2.5 -2.1		-1.4 -2.8	0.5 -0.5	1	1.5 0.9	-6.8 -0.9	5.4	12.2 3.8	
~	従	値	_{非器逗未} 大企業	2.5	21.2	-6.7 1.2	6.4	-7.7 0.0	6.1	-2.1 6.7	-4.5 5.9	-2.8 4.1	12.9	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	5.6	1	2.9 31.0	24.5	
来	業		中小企業	-0.4	-0.9	-7.3	-8.3	-6.4	-1.4	-3.3		-3.2	-1.2		0.9	-3.1	1.9	5.0	
期。		季	<u>合 計</u> 製造業	1.3 2.0	-2.9 -3.5	-5.8 -4.9	-5.2 -3.1	-4.8 -0.3	-4.7 -2.0	-1.3 -0.8	2	-1.2 -0.7	-4.0 -3.8	}	2.8 3.4	-1.0 -6.0	-0.1 1.2	0.9 7.2	
		調	非製造業	0.5	-2.7	-6.0	-5.8	-6.6	-5.3	-1.4	-2.9	-1.6	-3.8	1.8	2.4	0.5	-0.4	▲ 0.9	
		済	大企業 中小企業	10.4 0.2	8.5 -4.1	3.1 -6.5	9.4 -6.6	7.1 -5.8	−5.2 −4.5	8.1 -2.5	8.6 -2.8	10.6 -2.6	2.8 -4.3	1	8.1 2.6	12.8 -2.6	21.6 -1.0	8.8 1.6	
<u> </u>			サ か 止 耒	0.2	-4.1	-0.5	-0.0	-5.8	-4.5	-2.5	-2.8	-2.0	-4.3	1.1	2.0	-2.6	-1.0	1.6	J

表3 設備投資推移表

			114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	前回調査と	前年同期
		令和	令和1		令	和2			令:	和3			令?	₽ 14		令和5	の比較	調査との
		四半期	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7 ~ 9	10~12	1~3	07LL+X	比較
		増加	23.2	17.0	9.9	10.6	13.0	10.4	13.2	16.1	18.9	21.2	19.8	19.8	22.9	20.6	▲ 2.3	▲ 0.6
	製	横ばい	30.8	33.5	21.0	18.9	25.9	25.7	28.3		28.6	30.5	35.3	33.7	29.8	34.3	4.5	3.8
	造	減少	16.2	25.8	31.3	31.3	28.6	35.6	23.9	13.8	12.6	23.2	19.8	13.9	10.2	16.2	6.0	▲ 7.0
	業	なし	27.3	19.1	30.0	35.2	29.7	24.3	28.8	1	35.9	23.6	21.3	31.2	34.1	26.0	▲ 8.1	2.4
		未定	2.5	4.6	7.8	4.0	2.7	4.0	5.9		3.9	1.5	3.9	1.5	2.9	2.9	0.0	1.4
	非	増加	16.2	14.7	9.1	9.4	9.7	10.1	11.7	11.7	14.9	12.9	12.3	14.9	12.6	16.1	3.5	3.2
		横ばい	31.3	30.8	20.7	20.2	24.6	26.2	24.3		26.6	28.4	32.7	31.8	28.8	31.1	2.3	2.7
	製造業	減少	11.7	18.7	26.9	21.9	16.5	26.2	17.5		11.7	18.3	13.8	13.4	11.2	13.8	2.6	▲ 4.5
	業	なし	36.5	32.7	35.7	43.2	44.0	34.8	39.5	1	42.8	36.4	34.8	34.9	42.4	35.3	▲ 7.1	▲ 1.1
		未定	4.3	3.0	7.6	5.2	5.1	2.7	7.0		4.0	4.0	6.5	4.9	4.9	3.6	▲ 1.3	▲ 0.4
	١.	増加	26.0	31.8	22.5	18.4	18.8	24.2	25.7	19.7	30.6	22.6	27.0	35.2	31.1	39.0	7.9	16.4
	大	横ばい	50.6	42.4	35.0	28.9	39.1	42.4	43.2	47.0	37.5	50.0	47.3	45.1	42.6	35.6	▲ 7.0	▲ 14.4
設備投資	企	減少	16.9	16.7	25.0	35.5	26.1	25.8	17.6	15.2	18.1	11.3	9.5	4.2	6.6	13.6	7.0	2.3
	業	なし	6.5	7.6	11.3	13.2	11.6	6.1	13.5		11.1	14.5	9.5	14.1	16.4	11.9	▲ 4.5	▲ 2.6
		未定	0.0	1.5	6.3	3.9	4.3	1.5	0.0	}	2.8	1.6	6.8	1.4	3.3	0.0	▲ 3.3	▲ 1.6
	中	増加	17.1	13.8	8.1	9.1	9.8	9.1	10.8	12.3	14.2	14.7	13.1	14.3	13.9	15.9	2.0	1.2
	亦	横ばい	28.9	30.3	19.2	19.2	23.9	24.6	23.7		26.4	27.2	32.5	31.6	27.9	31.6	3.7	4.4
	· 企	減少	12.3	21.0	28.3	23.3	18.6	28.7	19.0	i	11.5	19.9	15.6	14.3	11.1	14.4	3.3	▲ 5.5
	業	なし	37.4	31.3	36.4	43.5	43.1	34.4	39.0	40.7	43.7	34.6	33.3	35.5	42.5	34.6	▲ 7.9	0.0
		未定	4.3	3.6	7.9	4.9	4.6	3.2	7.4		4.1	3.6	5.5	4.2	4.6	3.7	▲ 0.9	0.1
		増加	18.0	15.3	9.3	9.7	10.4	10.2	12.0		15.9	14.9	14.0	16.1	15.0	17.2	2.2	2.3
	슴	横ばい	31.2	31.5	20.8	19.9	24.9	26.1	25.2	27.6	27.1	28.9	33.3	32.3	29.0	31.9	2.9	3.0
	合計	減少	12.9	20.5	28.0	24.3	19.3	28.4	19.0		12.0	19.5	15.2	13.5	11.0	14.4	3.4	▲ 5.1
	l	なし	34.1	29.3	34.2	41.2	40.8	32.3	37.0		41.1	33.3	31.6	34.0	40.5	33.0	▲ 7.5	▲ 0.3
		未定	3.8	3.4	7.7	4.9	4.5	3.0	6.7	6.1	3.9	3.4	5.9	4.1	4.5	3.4	▲ 1.1	0.0

〔注:季節調整〕

景気観測調査では、業況や売上、利益など、経営に関わる様々な切り口の指標を用いて経済状況を総合的に観測しているが、指標によっては毎年、季節や時期の影響を受けて、決まった期に同様の動きをするものがある。例えば、業況判断の前期比 DI は、ほぼ毎年のように 10-12 月期に年末需要によって上昇し、翌期の 1-3 月期に下降する。こうした季節的な動きを含む指標の DI は、季節による変動によって景気による変動が読み取りにくくなるため、季節的な動きをする指標に対しては、季節による変動を除去して考察することが適切である。

そのため、本調査においては、特に季節による変動が顕著に表れる、「業況判断(前期比) [今期実績と来期見通しの各系列]、出荷・売上高、営業利益判断、営業利益水準、来期の従業者数」の6つのDIに対して、「X-13-ARIMA」法による季節調整値を用いている。

〔注:「X-13-ARIMA」法による季節調整手法の利用状況と本調査における使用方法〕

「X-13-ARIMA」法は、米国センサス局が開発した季節調整のプログラムであり、統計データの季節調整に用いられている。

なお、年度ごとに初回調査時に推定によって得られた諸係数を固定して用いることとする。